

第5回草津市総合計画審議会における
主な意見とその対応について

○は審議会での意見・対応
→は審議会後の事務局対応

頁	主な意見	対応
【(1) 将来ビジョンについて】		
ー	「人と“つながる”ことで、心も体も健康となり」という表現に違和感がある。人とつながることで充実感は生まれるだろうが健康という表現は適切か。	○人と人がつながることで、コミュニケーションや活動が生まれ、健康になっていくと考えております。
ー	人とのつながりが健康へとつながるといふ説明をもう少し詳しくされてはどうか。	○将来ビジョンの大まかな方向性を示す箇所であり、具体的な記載とせず現行の表現とされた方が良いと考える。(会長)
【(2) 将来のまちの構造について】		
P26	「まちなか・にぎわいゾーン」について、駅を中心とするという説明があるが、南草津駅が当該ゾーンの端にあるため違和感がある。	○駅を中心とするは、地理的な中心ではなく、都市の核となるという考え方で中心としております。御意見を踏まえ、見やすくするよう図面の修正を検討します。 → <u>図面を修正しました。</u>
P28	みどり軸は点線のみで表されているが、湖岸レクリエーション軸は点線で囲っているのはどうしてか。軸という言葉のイメージから、点線のみで表す方が適切ではないか。	○湖岸レクリエーション軸は広範囲を示す必要があることから、点線のみで表すことが難しいため、現行の表記とさせていただきます。
P26 P27 P28	「丘陵・産業・交流ゾーン」だと、産業の印象が強くなり、このまちに住みたいとは思えない。	○将来のまちの構造は、都市としての大枠を表しております。市の東部では、本市唯一の工業団地が立地していることから、「産業」は、都市の大きな特徴の1つであると認識しております。
P28	地図中の薄い青の矢印があることで、地図を見たときに何を表現したいのかが読み取りにくい。まちにつながりが生まれることは、文章中の説明で十分ではないか。	○検討します。 → <u>矢印を削除しました。</u>
P28	総合計画で表すまちの構造としての要素は十分に入っているため、薄い青色の矢印は、なくてもよいと思う。より具体的な項目は都市計画マスタープランなど個別計画の中で記載された方がよい。	○検討します。 → <u>矢印を削除しました。</u>
P28	各拠点やゾーンのイメージが湧くようなイラストを加えるなどすると見やすくなるのではないか。	○印刷製本の際には、イラストを加えるなど、見やすくなるよう工夫させていただきます。

頁	主な意見	対応
ー	丘陵・産業・交流ゾーンの名称について、当該地域の中にはびわこ文化公園都市に位置付けられている地域もあることから、「交流」から「文化」に変更としても良いのではないかと考えている。	○検討します。 →御意見のとおり、当該ゾーンには、びわこ文化公園都市があり、「文化」の機能が高いものと考えております。今回の第6次草津市総合計画では、びわこ文化公園都市が有する「文化」の機能の他、幅広い人々の「交流」を促進する機能にも着目するとともに、計画期間中に山手幹線が開通する予定があり、交通機能が高まることで、広域的な「交流」が促進されるものと考えておりますので、 <u>原案のとおり、「丘陵・産業・交流ゾーン」とさせていただきます。</u>
【(3) まちづくりの基本目標について】		
P29	SDG sには「持続可能」の視点もあり、追記すべきではないか。	○先般の特別委員会においても同様の御意見をいただいております。修正を検討しております。 → <u>修正しました。</u>
P29	協働の三つ目の○の文章が分かりにくい。	○先般の特別委員会においても同様の御意見をいただいております。修正を検討しております。 → <u>修正しました。</u>
P29	将来ビジョンの検討の中で、「つながり」がキーワードとなっているにもかかわらず、「つながり」の表記が弱いと思う。「つながり」を意識しながらではなく「つながり」を基本として、などに修正してはどうか。	○検討します。 → <u>将来ビジョンとのつながりから、まちづくりの基本目標の名称・説明書きを追記しました。</u>
P29	SDG sの17の目標のロゴをどこかに記載したほうがよいのではないか。	○ロゴについては、基本計画の中で記載させていただきます。
P29	「つながり」を作る具体的な方策として、「協働」や「SDG s」を踏まえる必要があるという流れなのではないか。今の文章の表現では、それが伝わらない。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P29	将来ビジョンを受けて、つながりがメインとなるようなまちづくりの基本目標の説明が必要ではないか。また、「社会情勢の変化」の中でSDG sの説明をしているが、ページが空いているため、当該ページでもSDG sについて説明が必要ではないか。	○検討します。 → <u>将来ビジョンとのつながりから、まちづくりの基本目標の名称・説明書きを追記しました。SDG sについては、市民の方にもわかりやすいように用語集等でも詳しく説明させていただきます。</u>

頁	主な意見	対応
P29	17の目標と169のターゲットのすべてを記載することは難しいため、草津市に足りなかったものや注力すべきものに絞って記載してもよいのではないか。	○検討します。 → <u>基本計画の中でSDGsの目標を整理する際に、御意見を参考とさせていただきます。</u>
P33	「コミュニティ」について、まちづくりを担う後継者などの人材育成の視点も重要ではないか。	○検討します。 → <u>御意見の視点については、2つ目の○の記載に包含しております。また、御意見については、重要な視点と考えておりますので、基本計画の策定の中でも参考とさせていただきます。</u>
P29	SDGsの17の目標をまちづくりの基本目標ごとに分類してはどうか。	○今後、各分野での施策展開等において、SDGsの目標が追加されるなど、計画期間中に変わる可能性があることから、計画期間が4年の基本計画の中で分類させていただきます。
P29	第5次草津市総合計画で進めている「協働」を引き続き進めていくのか。	○第6次草津市総合計画においても、「協働」のまちづくりを進めてまいります。
P29	「SDGs」や「協働」をリーディング・プロジェクトとして位置付けるべきではないか。	○「SDGs」や「協働」はまちづくりの根底となるものですので、基本構想の中で位置付けさせていただきます。
P35 P37	「交通」について、「商工観光」との連携がとても重要だと思うが、例えば「商工観光」に交通の要素を追記できないか。	○検討します。 → <u>御意見のとおり、「商工観光」と「交通」については、連携が不可欠であると考えております。少し具体的な内容になりますので、基本計画の策定にあたり、御意見の視点を参考にさせていただきます。</u>
P30	「歴史・文化」について、草津市文化振興条例の中でも「活力あふれる地域社会を創造する」ことを謳っており、「活力あふれる」は削除せず残していただきたい。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P30	「男女共同参画」について、「性別に関わりなく」という言葉を追記いただきたい。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P30	「学校教育」について、学校教育の充実を図るだけでなく、将来の人生へとつながっていくような教育について強調いただきたい。	○御指摘の件と併せて学校教育の文章全体を検討したいと考えております。 → <u>御指摘の内容については「人生を切り拓くための基礎・基本となる「生きる力」を身につけられる教育」に包含しております。また、地域・家庭と連携した教育力の強化について、追記しました。</u>

頁	主な意見	対応
P32	「健康」について、1つ目と2つ目の○に記載されている内容が重複しており分かりにくい。また、「地域の主体的な健康づくり」とは何を想定しているのか。	○1つ目の○については、「市民の健康づくり」を、2つ目の○については、「保険制度」の内容を中心に記載をしております。また、「地域の主体的な健康づくり」については、各地域で高齢化率や地域資源等が異なることから、地域に応じた健康づくりの取組を支援しているものです。
P32	「長寿・介護」について、三つ目の○に「在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」と記載されているが、あえて「在宅」と記載する必要はあるのか。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P32	「子ども・子育て・若者」について、「子どもの権利や生活が保障されるまちづくりを進めます」を冒頭に記載してはどうか。	○検討します。 → <u>修正しました。</u>
P32	健康は、医療費の削減が目的ではなく、幸せに繋がるという考え方が重要だと思う。	
P30	「学校教育」について、「学校教育の充実」の具体的な説明を追記してはどうか。	○検討します。 → <u>具体的な記載は基本計画の中で記載させていただきます。</u>
P32	分野「子ども・子育て・若者」が「健康・安心」に位置付けられている理由は何か。また、全体を通して若者や子育ての環境に関する記載が薄いように感じる。	○「健康・安心」という名称は検討中のものであり、将来ビジョンとあわせて検討する。若者、子育て環境に関する記載については検討します。 → <u>基本計画等の策定の中で、御意見を参考とさせていただきます。</u>
P32	分野「長寿・介護」について、今後、草津市は国が進めていく以上の在宅医療、在宅介護に関する施策を行っていくのか。	○国が進める施策を本市にどのように当てはめていくのか検討している段階であると認識しております。